

Cross-cultural and Interdisciplinary Program (Liberal Arts)

説明資料

2025年4月9日（水）

林 光緒（副理事（教育企画担当））



HIROSHIMA UNIVERSITY

Cross-cultural and Interdisciplinary Program (Liberal Arts)とは？

広島大学はグローバルキャンパス！

国際的に展開する
研究活動

世界中の研究者が集
うリアルな、そして
バーチャルなキャン
パス

世界96カ国・地域
から1,831人の留学
生*が集まるグロー
バルな環境

*2024年5月1日現在

国際共通語
である英語で学べ
る授業が多数ある

外国語運用能力の育成だけでなく、様々な学問領域や専門知識および社会における多様性を外国語で学ぶことを通じて、異文化同士の架け橋となるコミュニケーション力を培うことが必要

「英語を学ぶ」 + 「英語で学ぶ」

ことをコンセプトとした特定プログラム

※海外留学は、カリキュラム上、必須ではありません※

自主テーマに基づく学修



1年次：「自主テーマ」の学修（領域科目）

【自主テーマとは？】

このプログラムでは「異なる学問分野を横断しながら、自らの興味や好奇心に基づいて設定するテーマ」と位置付けています。「自主テーマ」は途中で変更しても構いませんし、履修を進めながら（あるいは履修後に）関連付けていく方法もあります。

（自主テーマの例）

- Why is the declining birthrate a issue?(なぜ少子化が問題なの?)
- Plastic in the ocean problem(プラスチック問題と海洋汚染)
- Ethics of artificial intelligence(人工知能と倫理)

※「自主テーマ」を設定することは、異なる複数の学問分野のアプローチを用いて思考することができる、いわば「文理複眼」的な思考力の涵養に繋がります。

教養教育科目（領域科目）の履修



1年次：「自主テーマ」の学修（領域科目）

教養教育科目の領域科目のうち、英語で開講される科目（＝シラバスの使用言語が「E：英語」の科目）から計8単位修得してください。

【履修表】

授業科目名	開講期	履修区分	要修得 単位数	開設部局
領域科目「人文社会科学系科目群」のE科目	1年次 (1-4T)	選択必修	4	教養教育科目
領域科目「自然科学系科目群」のE科目	1年次 (1-4T)	選択必修	4	教養教育科目
計			8	

(※1)「人文社会科学系科目群」・「自然科学系科目群」から各4単位以上修得すること

(※2)使用言語が「B：日本語／英語」の科目を2単位まで含めることができる

(※3)修得した単位は、各学部の履修基準に基づき、教養教育科目（領域科目）の単位として卒業要件に含めることができる



英語で開講される領域科目（教養教育科目）の確認方法

シラバスで以下 3 点を確認してください。

もみじ MOMIJI 広島大学 学生情報 検索 ユーザ 教育 情報 さん スマホ版

タイムアウトまで約 30 分 情報システムにおける個人情報を含む教育・学習データの取り扱いについて

メッセージ

シラバス参照

シラバス参照

年度	2024年度	開講部局	教養教育
講義コード	62037001	科目区分	領域科目
授業科目名	Politics and Society in Europe		
授業科目名 (フリガナ)			
英文授業科目名	Politics and Society in Europe		
担当教員名	貝賀 早希子		
担当教員名 (フリガナ)	カイカ サキコ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期 2ターム
曜日・時限・講義室	(2T) 月5-8 : 総K105		
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	対面 Lecture, seminar and discussion
単位	2.0	週時間	4
対象学生		使用言語	E: 英語
学修の段階	1: 入門レベル		
学問分野 (分野)	23: 人文学		
学問分野 (分科)	07: 史学		
授業のキーワード	International System, West, Modern History, War, Empire		
教養専門科目			
教養教育でのこの授業の位置づけ	Area Courses (Courses in Arts and Humanities/Social Sciences) Category: Anthropology / Geography / History		
学習の成果	1. To be able to explain the formation and development processes and contemporary issues of each academic discipline. 2. To be able to explain historical and contemporary issues that span multiple academic disciplines from multifaceted perspectives.		

① 開講部局：教養教育
科目区分：領域科目

② 使用言語：E：英語

※使用言語が「B：日本語／英語」の科目を2単位まで修了要件に含めることができます

③

教養教育でのこの授業の位置づけ：

- Courses in Arts and Humanities/Social Sciences(人文社会科学系科目群)
- Courses in Natural Sciences(自然科学系科目群)

領域科目（教養教育科目）のうち、 英語で開講される科目（2025年4月1日現在）

◎ 人文社会科学系科目群

区分	授業科目名	単位数	履修年次 開講ターム
人類学・地理学・歴史学	Contemporary Issues of Japan	2	1年次生 1ターム
	Cultural Anthropology	2	1年次生 1ターム
	Introduction to Tourism Studies	2	1年次生 3ターム
	Contemporary World Issues	2	1年次生 4ターム
	Introduction to Media Studies	2	1年次生 4ターム
	Politics and Society in Europe	2	1年次生 4ターム
	Regional Geography of Japan	2	1年次生 4ターム
法学・政治学・社会学・経済学・教育学	Contemporary Economic Issues I	2	1年次生 1ターム
	Introduction to International Cooperation	2	1年次生 1ターム
	Law and Politics I	2	1年次生 2ターム
	Contemporary Economic Issues II	2	1年次生 3ターム
	Introduction to Statistics and Quantitative Sociology	2	1年次生 3ターム
	Law and Politics II	2	1年次生 3ターム
	Introduction to Japanese Legal System	1	1年次生 3ターム
哲学・倫理学・宗教学・芸術学	Introduction to Japanese Thought	2	1年次生 4ターム
	Philosophy A	2	1年次生 4ターム
	Aesthetics, Philosophy of Sensibility	2	1年次生 4ターム
	Japanese Religion B	2	1年次生 4ターム

領域科目（教養教育科目）のうち、
英語で開講される科目（2025年4月1日現在）

 HIROSHIMA UNIVERSITY

◎ 自然科学系科目群

区分	授業科目名	単位数	履修年次 開講ターム	
生物	Human and Ecological Systems in Transition	2	1年次生	2ターム
	Introduction to Biology	2	1年次生	3ターム
	Food and Life Science	2	1年次生	4ターム
化学	Fundamental Chemistry A	2	1年次生	1ターム
	Introduction to Applied Chemistry, Chemical Engineering, and Biotechnology	2	1年次生	2ターム
	Modern Chemistry	2	1年次生	2ターム
	Fundamental Chemistry B	2	1年次生	2ターム
	Chemistry of life	2	1年次生	4ターム
物理・天文・ 応用物理	Introduction to physical mathematics	2	1年次生	1ターム
	Principles of Physics	2	1年次生	1ターム
	Methods of Physics	2	1年次生	3ターム
	Introduction to Mechanical Engineering	2	1年次生	4ターム

2年次：「学び」のまとめ・総括（レビューミーティング）

自身の「学び」をアウトプットするスキルを身につけるとともに、以降の大学生活における「学び」への意識をさらに高めるため、英語による「自主テーマ」の学修成果の発表やアカデミックライティングの演習等を行います。

* 詳細は決まり次第、登録者あてにお知らせします



CHECK

英語による学びをさらに深めたい場合は、2年次以降においても「**国際共創副専攻プログラム**」の履修^(※)等により、学士課程教育全体にわたり「日本人学生と留学生がともに学ぶ」ことが可能

(※)副専攻プログラムの登録申請は、2026年1月上旬から2月上旬の予定です。

登録申請方法

申請期間：4月9日～5月8日

登録申請

- 「Microsoft Forms」で、登録申請を行います。

<https://forms.office.com/r/c7AybSnmiU>



プログラムの趣旨に鑑み、総合科学部国際共創学科の学生は登録の対象としません。

結果確認

- **志望動機**に基づいて登録審査を行い、5月末までに「Myもみじ」個人掲示で登録可否を通知します。

不明な点や分からないことがあれば、
以下にお問い合わせください。

教育推進グループ（学生プラザ3F）

Mail : gsyugakukm-group@office.hiroshima-u.ac.jp